

いつのまにか夢中になっていた、 ブラインドサッカー®



寺西 一 てらにし はじめ
ブラインドサッカー日本代表強化指定選手

視覚に障がいがある中でもできるスポーツのひとつに

『ブラインドサッカー』があります。

フットサルをもとに考案され、声や音を頼りに

感覚を研ぎ澄ませてプレーする5人制サッカーです。

今回、町田市在住のブラインドサッカー日本代表強化指定選手・

寺西一選手に、お話を伺いました。

パラスポーツを始めたきっかけ

中学校から盲学校へ通い始めたのですが、障がいがあってもスポーツができることを教わりました。中学校2年生のときにブラインドサッカーという競技があることを知り、チームに入りました。他の競技も挑戦したのですが、サッカーは動ける自由度が高く、自分に合っていると思ったからです。

ふだんの練習方法

週4~5日程度、練習をしているのですが、中でも日本代表の練習は週3回あります。個人では1日1時間程度、集中して行っています。僕自身がディフェンスということもあり、守りの中で、相手に振り切られないために「ステップワーク」の

練習をよくしています。ステップワークをこなせないと、すぐ相手についていけなくなり、失点につながってしまうことが多いからです。

また、チームワークも大切なので、コミュニケーションを取るよう心がけています。“見えている選手(GK)”と“見えていない選手(FP)”との距離感や波長といったものが、すごく大事になってきます。どういふボールを蹴るとパスがつながるのか、どのように声をかけると、選手が動きやすいのかといったイメージをしながらプレーし、練習でできるだけ、“伝わる・伝える”ようにしています。

今までで印象に残っている試合

2019年10月にタイで行われた『IBSAブラインドサッカーアジア選手権 2019』

の準決勝、中国との試合です。中国はとても強いチームで世界ランキングも常に上位にいますが、試合の後半、2-2というスコア状況の場面で僕が呼ばれました。1点でも失点したら負ける…。それは、とんでもなく責任重大だと思ひ、相当プレッシャーもありました。けっか、結果は失点させることなく凌ぎ、本当によかった…という気持ちになりました。あとはトルコでの親善試合で、初めてキャプテンマークを任されたことが思い出深いです。重圧がありつつも、試合に入ると集中できたので、それが良い結果になったのかもしれない。

東京2020パラリンピック競技大会への意気込みと今後の目標

メンバーに選ばれたら、どんな形でも

『ブラインドサッカー』って、どんなスポーツ?

ゴールキーパー以外が全盲の選手で、アイマスクを装着し、音の鳴るボールを用いてプレーする、5人制のサッカー。監督・ガイド・ゴールキーパーからの指示や味方とのコミュニケーションが大切で、ボールを取りに行く時は「ボイ」と声を出す

ルールがあります。選手は“見えない”という暗闇の中で、自分の考えで判断し、ピッチを自由に駆け巡ることができます。選手たちの想像力は無限大であり、視覚障がい者が日常ではなかなか難しい「動くことの自由」があるスポーツです。

「ブラインドサッカー チャレンジカップ2019」から



2019年12月に町田市立総合体育館で行われ、約1,700名の来場者で盛り上がりました。試合前には、町田市の子どもたちが参加したブラインドサッカー体験会も行われました。



アフリカ選手権4連覇のモロッコとの試合。強豪相手にくらいつたものの、結果は1-5で負けてしまいました。選手たちにとっては、次へ向けて収穫もあった試合でした。



キーパーの感覚をもとにボールを阻止する選手たち。国際親善大会も重要な試合であり、東京2020パラリンピック競技大会に向けて国際的な活躍を目指す選手を応援してください。

いいのでチームに貢献できたらと思っています。メダルを取るために、自分の役割やチームのためにできることをやり遂げたい。また、パラリンピックに限らずですが、2020年は思うように練習ができなかったのが、新しい選手が活躍できる環境も整えていきたいと考えています。やっぱり僕はサッカーが好きなので、ずっとこの競技が存続できるように普及活動をしていきたいです。

町田市のお気に入りの場所

住んでいる家の最寄駅付近には、飲食店も多いのですが、ごはんを食べていると、声をかけてくれる人もいて、みなさんとても温かくてフレンドリーなんです。そこでの交流から試合を観にきてくれる方もいて。あとは、大学時代から

住んでいるのですが、大学生活はいろいろな出会いもあり、本当に自分の視野が広がり、人生のターニングポイントになりました。ここでの経験はずっと忘れません。だから、僕にとって町田市は愛着のあるまちです。

最後に、町田市の子どもたちへメッセージを

パラスポーツに限ったことではないの

ですが、知らないものや世界にふれてみてほしいです。たとえば、何かスポーツをやっている子でしたら、そのスポーツに熱中していると思うのですが、同じスポーツでもちがう年齢や障がいのある人たちは、どんな風な競技をしているんだろうなど興味を持って、視野を広げてみてください。いろいろな形のスポーツがあることを知ると、もっと楽しめると思います。

Hajime Teranishi

寺西 一 © 1990年生まれ。パペレシアル品川所属、F P。2004年にブラインドサッカーで、と出会う。2010年日本代表初選出、2013年には代表初得点を挙げる。以降、主力選手として活躍。

